

# 支部協びより

第99号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 TEL.098-870-7101  
 FAX.098-875-7450  
 責任者  
 黒島善市

二〇一二年 年頭のあいさつ

## 辰年 昇り竜のごとく元気よく

会長 黒島 善市



この国に民主主義は根づいていないのではないかとさえ思う。

昨年は、東日本大震災をはじめ、宮崎県新燃岳の火山噴火や紀伊半島の集中豪雨その他広範囲の天災と、原発事故という人災にまで見舞われた。

一方、沖縄県民にとって政府権力による、相変わらず厳しい状況が続いている。あれほど全精力をつぎ込んで勝ち取った政権交代はなんだったのか。大阪府知事選、市長選の結果に対し、政府・民主党は、民意は考慮しなければならぬと言おう。しかし、沖縄県民の民意は無視し、辺野古に新基地建設は強行するといふ。まさに差別そのものだ。

国土の〇・六%しかないこの小さな沖縄に米軍専用施設が七四%も集中する。びつな状況が続いている。復帰四〇年の節目の年。平和を求め、再び戦争を経験しないためにも、体の動ける範疇で、声を上げ行動していきたい。

今年辰年、昇り竜のように、いかなる困難があろうとも、立ち向かい、はねのけ、元気よく前進しよう。私たちは若い人たちのように、テキパキと動けません。が、心身ともに元気で、他人にあまり迷惑をかけず、ある程度自立でき楽しく過ごせるよう頑張りましょう。

で結ばれてほしい。

ところで、被災地に寒い冬がやってきた。情報労連は復興・再生支援のシンボリック的取り組みとして「復興力キオーナー制度」を立ち上げた。別紙、呼びかけをお読みいただき、ぜひ趣旨に賛同されるようお願いいたします。この取り組みが「核」となり、被災地に元気の輪が広がっていくことを切に望むものだ。皆様の温かいお心遣いをお待ちしています。会員、ご家族皆様にとつて、より良き年になりますようご祈念申し上げます。

## 二〇一一年度は「昇り龍」の如く!



NTT労組沖縄支部執行委員長

濱元 盛任

二〇一二年、辰年。新年、明けましておめでとございます。

昨年は、「東日本大震災」の発生により、文字通り日本国内が「激震」した一年となりました。

民主党は、第三次補正予算を可決・成立させるとともに補正予算関連五法案等

についても成立させ、「東日本大震災」からの復興・再生を本格化させる法整備を整えました。現実には厳しく、本格的な復旧・再生には程遠い現状となっています。全ての被災者が一日も早く「安心・安全な生活」に戻れるよう、連合と連携しながら民主党政権へ強く

働きかけていくとします。

更に今年は「社会保障と税制の一体改革」の論議が本格化します。政府は「二〇一二年度税制改正大綱」を決定しました。①社会保障分野の国民負担増と高所得者への安易な負担増、②先送りされた、たばこ税の引き上げや配偶者控除の見直し、③自動車購入時の消費税と自動車取得税の二重課税等、課題は山積みとなっています。

「納税者の立場に立ち『公平・透明・納得』の税制を築き、納税者の理解・納得を得ながら改革を進めていく」との基本方針のもと、もっと「ていねいな説明・義務」を果たすべきだと考えます。勿論、消費税の引き上げや高齢者医療制度の見直しについても、情報労連・NTT労組と連携しつつ、「国民のための税制改革」となるよう対応を進めていくこととします。

昨年は全国各地で死亡事故が多発した一年でした。今年も優先し「組合員・家族の安全」を第一に「安全労働」を重視・強化した取

り組みを全組合員と一緒に

なつて推進していきたいと考えています。「皆で守ろう!仲間の命」。日常的な声の掛け合い・コミュニケーション活動を重視し、「安全労働」の推進・徹底を図っていきたくと考えています。

今年、組合員・退職者の会員一人ひとりの支えにより「昇り龍」の如く、飛躍の年にすべく沖縄総支部・全組合員が一体となった運動を展開していきたいと考えています。退職者の会会員の皆さんの引き続きのご協力を宜しくお願い致します。

## 新年のご挨拶

参議院議員

石橋みちひろ



参議院議員

吉川さおり



今年もよろしくお祈りします



**採択権は、教育長ではなく教育委員会にある**

石垣市議会議員 大浜 哲夫

日本最南端の石垣島に、ある日突然、「自由社」と「育鵬社」といういかかわしい出版社(教科書)が出現した。この二社は、「新しい教科書をつくる会」系である。「つくる会」系は、これまでの教科書は、「自虐史的」であると批判している。自虐史観とは過去の歴史の負の部分で強調し、正の部分を通小評価することである。すなわち、戦前の天皇制、男尊女卑、軍国主義、各種の戦争等々の負の部分で強調して自分で自

分を必要以上に責め悩んでいることである。果たしてそうだろうか、戦争等々の史実を真正面から捉え、分析、反省して「二度と再び過ちを犯してはならない」と的確に教えていくのが「教科書」である。そのような教科書を批判し、時代錯誤的、戦前回帰的な教科書を中学生に教えることを目論むことが玉津石垣市教育長の恐ろしい戦略である。その教育長は、その戦略遂行のために、教育指導主事の採択協議委員

の排除、教科書調査員の形骸化、教科書順位付けの廃止等々をやつてのけた。教科書無償措置法と地方教育行政法の二つの法律がある。措置法によって地区採択委員会は、教科書の一本化が義務付けられている。教育行政法では、教科書の最終的な採択権は各市町村教育委員会にあると明記されている。

竹富町教委は、法律に基づいて粛々と事を進めているのに対して、文科省や石垣市教委、与那国町教委は集中砲火を浴びせている。特に文科省は、「有償化」と憲法違反の暴挙に出るほどである。

県教委は、事態を打開するために九月八日に三市町全教育委員による協議会を開催するよう指導、助言、支援をした。それは、地区採択協議委員会からの任務が八月三十一日で完全に終了しているからである。

全教育委員での協議では、育鵬社は不採択となり、東京書籍社が採択された。県教委は、この採択決定を有効であるとの方針を堅持している。

**東北大震災・復興再生支援に取り組もう!**

同封の「情報労連」による復興・再生支援のお願いのピラや「NTT労組新聞」二〇一一年十一月一〇日発行の第四八五号で述べられているように、NTT労組退職者の会では、情報労連と一体となって「岩手県三陸やまた漁業協同組合」復興再生支援事業としての「カキ養殖のオーナー」制度に取り組むことになりました。沖縄県支部協会の皆様が、この支援事業に賛同し、多数のオーナーになられることを期待致します。具体的には、次のとおりの手続き・送金・カキの受領となります。

- ① 同封の「情報労連復興カキオーナー賛同金申込書」に記入して、沖縄県支部協に送付又はFAXで送付する。
- ② 申込書の送付と同時に、左記口座に申し込み口数に応じた金額を入金する。
- ③ 申し込み口数と入金金額確認のため、「必ず連絡電話番号」は、記入してください。
- ④ 振込先口座 金融機関名：沖縄県労働金庫・浦添支店、口座番号：2286570 口座名：NTT労組退職者の会沖縄県支部協 会長黒島善市
- ⑤ 申込書・納入金額の確認後↓退職者の会中央協へ報告・送金↓NTT労組中央本部へ報告・送金↓情報労連↓「やまだ漁協」↓会員に「カキオーナー証書」を送付↓2013年春以降↓やまだ漁協から「カキ」を送付。↓取り組みの終了。

**第一回幹事会模様**

第一回幹事会が十一月七日、十二時からNTT労組沖縄総支部にて行われました。北部ブロックからは与那国誠勝顧問に参加して頂きました。

**一、総会と交流会について**

- ① 総会：挨拶の時間を縮めてほしい。
- ② 交流会：進行・時間および料理と飲み物については、異議なし。

**二、幹事会・決定事項**

- ① 北部からの諸行事参加の交通費の支払いについて

那覇での定期総会への参加は、那覇く名護間の往復バス賃ではなく、交通費の補助費として一人当たり二千円を支払う。

- ② 春闘祭りやグラウンド・ゴルフ大会、ピース・すてーじへの参加行動および県民的大衆行動への参加は、従来通り自己負担での参加とします。
- ③ 宮古・八重山からの総会参加は、従来通り離島割り引き適用の往復航空運賃プラス宿泊費(一万円)とします。ただし、グラウンド・ゴルフ大会参加のように日帰り参加の時は、右記航空運賃のみとします。
- ④ 余暇等行事への参加は、すべて自己負担を原則とします。

ます。支部協から参加を指名された会員を除く。

**三、年間計画の概要**

- ① 「支部協だより」(会報)は、毎月発行を努力する。
- ② 十二月：十二月初旬の会員名簿の発行。
- ③ 一月：琉歌碑めぐりの参加募集↓二月中旬実施
- ④ 二月：中旬グラウンド・ゴルフ実行委員会の開催。
- ⑤ トウシビー祝い該当者への振込先への呼びかけと「健康への一言」
- ⑥ 三月：下旬グラウンド・ゴルフ大会
- ⑦ 四月：情報労連主催「4・28平和集会」
- ⑧ 五月：全国交流会への参加：支部協より二名派遣
- ⑨ 六月：県議会議員選挙の取り組み：現役の総支部と相談して取り組む、辺野古への新基地建設を阻止する。六月二十三日前後：ピース・すてーじによる「嘉手納基地の半周めぐり」行動への参加と全国から参加した「退職者の会の会員」との交流会。六月二十三日：暹羅の塔慰霊祭への参加。
- ⑩ 九月：中旬の全国大会後、第十四回定期総会議案骨子検討開始。情報労連主催「9・7平和集会」
- ⑪ 十月：十月中・下旬第十四回定期大会開催。

